

## インドで大型肥料コンプレックスを受注

2018年3月15日  
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社 (Toyo-Japan、取締役社長 中尾 清) は、インド現地法人トーヨー・エンジニアリング・インディア・プライベート・リミテッド (Toyo-India、会長兼社長 柳 一也) と共同で、このたびインドの国営電力会社 National Thermal Power Corporation (NTPC)、国営石炭鉱業会社 Coal India Limited (CIL) 及び国営石油会社 Indian Oil Corporation Limited (IOCL) を主要出資社として設立した肥料会社 Hindustan Urvarak & Rasayan Limited (HURL) がインド、ウッタル・プラデーシュ州ゴラクプールに新設する、大型肥料プラント建設プロジェクトを受注しました。本プロジェクトは、日産 2,200 トンのアンモニア製造設備及び同 3,850 トンの尿素製造設備、及び用役供給設備で構成される大型肥料コンプレックスを建設するものです。本件には、米国 Kellogg Brown & Root のアンモニア技術、TOYO の尿素合成技術「ACES21<sup>®</sup>」が採用されています。

本プロジェクトは人口増加に伴い、化学肥料の全量内製化を志向するインド政府により、MAKE IN INDIA のスロージャンの下に推進されているプロジェクトの一環であり、TOYO がその第 1 号案件を受注いたしました。

1963 年に TOYO 創業後初の海外進出プロジェクトとして、今回建設地となるゴラクプールにて日本企業初の肥料プラント輸出案件を完遂してから 55 年後に、再びプロジェクトを実行する事となりました。現在ラジャスタン州コタにて建設中の肥料プラントを含め、通算 16 件目のインド向け肥料案件となり、尿素ライセンスとしての技術力に加え、TOYO の同国における豊富な実績とプロジェクト遂行能力が評価されたことによる受注となります。

多くの人口と巨大な中間所得層を抱え、今後も成長を続けるインド市場において、TOYO は、肥料プラントを始めとした様々な分野での実績を基に、同国の経済発展への貢献とビジネスの拡大を図ります。

### 受注概要

- 客先: Hindustan Urvarak & Rasayan Limited (HURL)  
(National Thermal Power Corporation (NTPC)、Coal India Limited (CIL)、Indian Oil Corporation Limited (IOCL)、Fertilizer Corporation of India Limited (FCIL) 及び Hindustan Fertilizer Corporation Limited (HFCL) の共同出資会社)
- 受注者: Toyo-Japan と Toyo-India のコンソーシアム
- 建設地: インド ウッタル・プラデーシュ州 ゴラクプール
- 対象設備: アンモニア製造設備: 日産 2,200 トン  
尿素製造設備: 日産 3,850 トン  
用役設備
- ライセンサー: アンモニア: 米 Kellogg Brown & Root LLC  
尿素: 東洋エンジニアリング株式会社
- 役務内容: ライセンス供与、設計、機器資材調達、建設工事、試運転までの一括請負
- 試運転開始: 2020年12月

<お問い合わせ先>

広報・IR 部 [担当: 飯田、深沢] TEL: 047-454-1113